

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れつつ中庄		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 6日 ～ 令和 7年 1月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日 ～ 令和 7年 1月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合った支援を行うことを心掛けている	定期的なアセスメントの実施。 複数のフォーマルアセスメントを取り入れ、幅広く本人を捉えられる仕組みを作っている。	多様な研修を受け、支援の引き出しを増やしていく。幅広いアセスメント結果と併せて、より本人に合った方法での支援を組み立て、実施していく。
2	ご家族との関わりを大切にしている	送迎時に療育の報告を行っている。また、当日中に個別活動・グループ活動それぞれの様子をアプリにてご家族に報告している。 また、家族間の関わりの構築のため、茶話会も開催している。	茶話会以外にも、ご家族との関わりを得られるイベントを検討していく。
3	外部講師からのコンサルテーションを受けなどしながら、職員 のスキルアップを図っている。	個々に合ったより良い支援を行うために、外部講師のコンサルテーションを受ける事や、積極的に研修への参加を行い、スキルアップを図っている。	ご家族から研修のニーズもあるため、開催に向けてスキルアップを図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSの活用が十分に出来ておらず、周知が不十分である	活動報告など、SNSを通じて情報を発信した際の周知が出来ていない。	連絡帳アプリも活用して情報の発信を行う
2	避難訓練の実施や必要なマニュアルなどの周知が不十分である	情報の発信は行っていたが、周知には至っていなかった。	避難訓練などの実施についてや、マニュアルの存在について知っていただく機会をつくる。 連絡帳アプリを活用して、情報の発信を行う
3	地域の方や子どもたちとの交流の機会が作れていない	地域の学校との併用利用であり、すでに交流のある方も多かったため、設定ができていなかった。	交流の機会が作れるよう、検討をしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		れっつ中庄		公表日		令和 7年 3月 1日			
				利用児童数		17		回収数 13	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2			・ 集団活動のスペースと個別のスペース があつていいです。	今年度は、必要に応じて参観の機会を取り 入れました。全利用児の実施は難し かったため、今後利用中の様子を直接見 ていただく機会を増やしていきたいと考 えています。 また、写真や動画等を活用して環境を見 ていただける機会も増やしていけるよ う、努めて参ります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13						
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	13				・ 子どものことをよく見てくださり、様 子が分かりやすいです。	引き続き、各職員のスキルアップを図り ます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	12			1		支援プログラムにつきましては、ホーム ページに掲載しております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	13				・ 面談等で詳しく聞いてくださいます。	定期的に計画の見直しを行い、その時の 本人に合った支援に努めています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	12			1		全児童、本人支援、家族支援、移行支援 の項目を欠かすことなく計画に組み込ん でいます。また、立案時には支援会議内 で職員間で協議し、ご家族に確認を頂い た上で開始しております。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					定期的に計画の見直しを行い、その時の 本人に合った支援に努めています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	12			1		本人の成長に合わせて課題を設定し、達 成できることで、成長と自信に繋げられ るよう努めています。	
保 護 者	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	4	3	1	5		全児童、普段は小学校に通っているた め、それぞれの児童が地域との関わりを もっています。れっつとして、放課後児 童クラブや児童館の交流はないため、今 後検討していきたいと思います。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	12			1		利用の契約時に皆様説明の時間をとらせ ていただいております。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	13					計画案、本計画の説明を見直しごと に行っております。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	8	1	1	3	・ 声かけのことや、遊びなど、家でも実 践できるものを教えていただきたいで す。	今年度は、実施できておりませんでし た。今後、職員のスキルアップを図りな がら、開催を目指していきたいと思いま す。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	13					登園、降所時には、毎回職員が情報の共 有を図ると共に、連絡帳アプリでその日 の療育内容を当日中に配信してありま す。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					面談は、基本的に年に2回を予定して おります。必要に応じて、追加もお受け しております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					帰りの迎えの際に、その日の療育のご 様子を毎回お伝えしています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	1	4	・保護者同士の交流が、もっともてると嬉しいです！	今年度は2回、茶話会という形で保護者の方同士の交流の場を設けさせていただきました。 また、敷地内の高齢者事業所でのハロウィンイベントには、ご利用児に限らずたくさんのご家族ご兄弟が参加くださいました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1		迅速に対応できるよう、努めております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					口頭や書面、イラストやジェスチャーなど、対象の方に合った方法でお伝えするようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1	2		ホームページに掲載しています。「新着情報」のページに活動の様子を月に2回更新しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			1		個人情報の取り扱いには、十分に留意しています。ホームページに掲載されている写真や情報は、事前に承諾を得た方のみとなっております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		2		いずれのマニュアルも作成済みです。保護者の方への周知・説明は不十分であったため、今後お伝えしていきます。訓練
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		4		は、今年度は2回実施いたしました。利用時の避難場所についても、今後お伝えしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			2		安全を確保した上で支援を実施しております。軽微なものでも事故が発生した時には、速やかにご家族に連絡、報告しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				・家族共々、大満足しています。この時間があるから少し気持ちが楽になったり本人も楽しい時間になっています！いつもありがとうございます！	ご本人もご家族も安心して通所していただけよう、今後も努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13					支援を実施するにあたって、まずはれっつがご本人にとって、楽しみな場所であるよう個々に合った環境や関係作りを丁寧に行っております。これからも良い関係の中で、充実したサポートを目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				・子どもに合わせた支援をしてくださっています。 ・2年生で次の事業所でも困らないよう、申し送りの用紙など丁寧に記入して支援してくれました。	日頃より事業所の運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。 今回いただいた意見を今後の支援に繋げられるよう職員間で共有し、より良い支援が行えるよう努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		れつつ中庄	公表日				令和 7年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	個別スペースは構造化し、遊びのエリアは人数によって広さを変えられるよう間仕切り使用する等、利用児に応じて適切なスペースは確保できている。	柔軟に対応していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	規準配置を遵守している。	引き続き基準配置を遵守していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	個々の特性や活動内容に応じて、柔軟に構造化を組み替えている。	段差や通路の狭さがあるため、利用児にとってバリアになる場合は、環境を再検討していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	感染症対策の面でも、利用終了ごとにエリアや用具の消毒、清掃を実施。	引き続き、感染症流行時期に限らず、提示清掃を行っていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別活動に限らず、グループ活動も必要に応じて一人、二人の少人数から始めることがある。	引き続き、個々の状況に応じて柔軟に対応していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	定期的に職員会議を実施。また、必要に応じて追加の会議も行っている。職員数も多くはないため、日々情報共有に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年実施しており、業務改善に繋げている。	引き続き実施していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年実施しており、業務改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	外部講師による研修を実施している法人。内での内部監査を実施している。	第三者による外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人全体の研修が、月に2-3回あり、障がい部門の研修が月に1回ある。	虐待防止や保健衛生、防災、事例検討など多岐にわたる研修を開催している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	令和6年12月にホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	発達段階や関わりレベルなど評価表を用いてアセスメント。課題の把握や支援計画に活かしている。	フォーマルアセスメントやインフォーマルアセスメントの幅を広げていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	基本的に全職員での会議を開催。欠席等あった場合は、後日共有する機会を設けている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	会議にて全職員で検討する事で、共通した認識のもと支援を行う事ができている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	利用開始時と定期的にフォーマルアセスメントを行い、日々の支援は行動観察から分析を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	全児童、本人支援、家族支援、移行支援の項目を欠かすことなく計画に組み込んでいる。また、立案時には支援会議内で職員間で協議し、ご家族に確認を頂いた上で開始している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	立案する職員をローテーションで組み、全員で共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	集団活動は、利用メンバーや発達段階に応じて、1ヶ月ごとにプログラムを作成しており、個別活動は、職員が変わる時は支援内容の共有を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	発達段階に合わせて計画・支援を行えるよう努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝のミーティングを実施し、共有した上で支援を開始している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	1部、2部終了後に振り返り・打ち合わせを実施し、早期の共有を図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援内容を記録、特記を引き継ぎ時に共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的に実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	可能な限り、管理者と支援職員2人で参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	迅速に対応できるよう、体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	基本的には、利用児、保護者を通じて行っている。直接当事業所が連絡をとる場合は、事前に保護者に同意を得た上で実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	療育資料の作成、必要に応じて会議を開催することで、情報共有、相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			小学2年生までが対象であるため、非該当。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	地域の児童発達支援センターとのスーパーバイズや助言を受ける機会は、なかった。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	当事業所が主だった開催ではないが、他部門と連携することで、イベントを開催している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		自立支援協議会の活動等の周知を図っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時、連絡帳にて情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	面談等で具体的な支援方法を提案する、支援内容を実際に見てもらおう等、ご家庭の状況に合わせた保護者支援を行っている。	引き続き、研修に参加する等スキルアップに繋がるよう努める。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時または内容の変更時に説明をしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	常に本人の意思の把握に努め、支援計画は、計画案の段階でご家族に確認して頂き、本案を立てる事としている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的に面談を実施している他、要望があれば適宜相談に応じるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	茶話会、保護者の座談会など、状況を見ながら実施出来るよう検討したい	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	定期的に面談を実施している他、要望があれば適宜個別相談、電話相談に応じるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	会報は無いが、ホームページで活動報告を発信している。またアプリにて活動の写真を送るようになっている。	今回の保護者アンケートで、ホームページをご存じでない保護者の方もおられたので、改めて周知した。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	ホームページ掲載時には個人名が見えないよう修正を行っている。会議等で持ち出す場合は持ち出し記録簿に記入している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	利用児、保護者に合わせた伝え方が出来るよう努める。	引き続き、口頭や書面、イラストやジェスチャーなど、対象の方に合った方法でお伝えしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	今年度も、敷地内の高齢施設が実施するハロウィンに兄弟児や地域の小学生などと一緒に参加した。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	いずれのマニュアルも策定している。訓練は、今年度は2回実施している。	保護者の方への周知・説明は不十分であったため、今後お伝えしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	感染症・非常災害時のBCPを策定している。年に2回様々な災害を想定して避難訓練を実施。	全利用児が参加できるよう計画、実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に保護者に記入してもらい確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に保護者に記入してもらい確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年間の安全計画を策定し、定期的な点検を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	事務所にいつもで確認できるよう、安全計画書を設置している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	法人部門内全体で共有できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待委員が中心となって研修会の開催や振り返りを行う機会を作っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	虐待防止委員が中心となって障がい部門全体を把握。保護者に説明し支援計画に記載している。	